

# 西村山地域居住者 疾患・治療法別入院動向 (追加説明資料)

令和4年11月2日  
山形大学大学院医学系研究科  
医療政策学講座教授  
村上 正泰

## 西村山地域居住者における 主要な専門的急性期入院治療 ～入院先別件数・シェア率～

治療名	件数	山形市内					西村山				その他地域	
		大学病院	県立中央	済生館	山形済生	その他	河北	寒河江	西川	朝日		
脳卒中												
tPA	21	0.0%	33.3%	42.9%	23.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
手術	123	8.1%	36.6%	31.7%	22.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%
急性心筋梗塞・不安定狭心症												
PCI	95	15.8%	64.2%	7.4%	9.5%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
がん												
手術	517	25.5%	44.3%	6.8%	10.6%	2.7%	8.5%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%

上記データは、2020年度データ(2019年4月～2020年3月)のデータを用いている。

※ tPA: 血栓溶解療法 PCI: 経皮的冠動脈インターベンション

がん手術は1割弱が西村山地域の病院(県立河北病院)で行っているが、  
その他の治療も含めてほとんどが山形市内の4病院に集約化されている。  
これらの専門性の高い急性期治療は体制の整った基幹病院で対応する必要があり、  
今後の西村山地域の医療提供体制を考える上でも、こうした患者の流れを前提に考えるべきである。

## 西村山地域居住者に関する 高齢者に多い一般的な入院医療ニーズ ～入院先別患者数・シェア率～

疾患名	患者数	山形市内					西村山				その他地域
		大学病院	県立中央	済生館	山形済生	その他	河北	寒河江	西川	朝日	
全疾患	7,487	13.5%	27.4%	8.7%	10.9%	3.8%	12.4%	11.0%	3.9%	4.4%	3.9%
誤嚥性肺炎・肺炎	368	1.9%	9.8%	6.3%	1.9%	1.4%	20.1%	22.6%	16.3%	16.8%	3.0%
骨折	448	2.2%	9.8%	0.7%	7.1%	2.2%	18.1%	39.5%	1.6%	1.3%	17.4%
慢性心不全	226	2.7%	19.5%	4.4%	3.5%	0.4%	14.6%	29.2%	12.8%	10.6%	2.2%
尿路感染症	151	2.0%	9.9%	4.0%	4.0%	0.7%	23.2%	16.6%	17.9%	19.2%	2.6%

上記データは、2020年度データ(2019年4月～2020年3月)のデータを用いている。

全疾患では西村山地域居住患者の約6割が山形市内の病院に入院している一方、  
高齢者に多い誤嚥性肺炎・肺炎、骨折、慢性心不全、尿路感染症を見ると、  
西村山地域居住患者の過半は西村山地域の病院に入院している。  
しかし、これらの疾患でも2～3割は県立中央病院など山形市内の病院に流出しており、  
今後の高齢化の中で西村山地域でより一層の対応を図れる体制を検討する必要がある。

## 西村山地域居住の山形市内入院患者で 入院期間Ⅱ(疾患別平均在院日数)超の患者数とその割合

疾患名	患者数	山形市内				
		大学病院	県立中央	済生館	山形済生	その他
全疾患	1,640 (4,591)	44.5% (1,013)	26.9% (2,048)	43.3% (652)	40.9% (661)	43.3% (217)
誤嚥性肺炎・肺炎	28 (75)	42.9% (7)	30.6% (36)	39.1% (23)	25.0% (4)	80.0% (5)
骨折	32 (85)	30.0% (10)	45.5% (44)	33.3% (3)	23.8% (21)	42.9% (7)
慢性心不全	30 (67)	33.3% (6)	45.5% (44)	40.0% (10)	66.7% (6)	0.0% (1)
尿路感染症	12 (31)	0.0% (3)	26.7% (15)	33.3% (6)	83.3% (6)	100.0% (1)

上記データは、2020年度データ(2019年4月～2020年3月)のデータを用いている。患者数は、自院の回復期リハビリテーション/地域包括ケア病棟(病床)に転棟(転床)した患者は除いている。山形市内の病院ごとの割合は、それぞれの病院の入院患者に占める入院期間Ⅱ超えの割合を示している。( )内は入院期間Ⅱ以内での退院患者を含めた患者数を再掲している。

全疾患で見ても山形市内の4病院に疾患別平均在院日数を超えている患者が約3～4割程度おり、  
専門的な急性期の治療を終えた患者の回復期の受け皿が西村山地域において必要である。  
また、高齢者に多い一般的な疾患でも、県立中央病院をはじめとした山形市内の基幹病院で  
入院期間が長期化している患者がいるため、慢性期の在り方を施設、在宅を含めて検討する必要がある。